

(別紙様式 1)

教育研究連携ユニット設置申請書

関 連 部 局 名	理学研究科、数理解析研究所
ユ ニ ッ ト 名	スーパーグローバルコース数学系ユニット
代 表 者 名 (氏名・所属・職)	森 重文 数理解析研究所 教授
ユ ニ ッ ト の 概 要 等 (設置期間内に達成しようとする目標も含む)	スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の全学的な実施運営に当たっては、本センターに置かれたスーパーグローバルコース実施準備ユニットが取り纏めを行ってきた。 スーパーグローバルコースの実施をさらに促進するため、全学的な活動として可視化し、強力に展開することが必要不可欠であることから、実施準備ユニット(会議)を発展的に継承し、全学的な運営調整とドライブ機能を担う「スーパーグローバルコース実施運営協議会」を平成27年12月に設置した。 また、京都大学学際融合教育研究推進センタースーパーグローバルコース実施準備ユニット内規第3条に「スーパーグローバルコースの実施を統括する新たな組織を設置のうえは、速やかにその機能を移行するものとする。」としていることもあり、現在、ユニットの下に学術分野単位で置いている4つのサブユニットをユニットに昇格させ、ユニットごとの自立性を確保しつつ、上記の実施運営協議会及びその下部組織である実務担当者連絡会を通じて、学内での連携・協力関係を図り、海外大学との連携・協力関係の強化を図ることとしたい。 今回、申請する数学系ユニットは、数理科学の広範な分野をカバーする世界最高水準の研究者集団を擁し、時代を先導する研究を行っている。大学院生には、第一線級の外国人研究者との交流により、国際性を涵養し、それによってグローバルな視点で活躍できる若手人材の育成を行う。
ユ ニ ッ ト 構 成 員 (氏名・所属・職)	別紙のとおり
設 置 期 間	平成28年4月1日から平成36年3月31日まで

期 待 さ れ る 成 果	数学系の各分野トップレベルの研究者による大学院のスーパーグローバルコースを通じて国際水準の教育研究を推進するとともに、国際共同学位プログラムの実施に不可欠な国際共同教育プログラムの制度設計を促進する。
設置期間終了後の構想	国際共同教育プログラム等を実施するとともに、設置期間終了後は、本プログラム等を実施する既存研究科において、円滑に実施できる体制を構築する。
必要経費とその財源	国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学等事業） 国立大学運営費交付金（特別経費（国立大学機能強化分））
担 当 事 務 組 織	理学研究科
そ の 他 留 意 事 項	

(別紙様式 1)

教育研究連携ユニット設置申請書

関 連 部 局 名	工学研究科 他
ユ ニ ッ ト 名	スーパーグローバルコース化学系ユニット
代 表 者 名 (氏名・所属・職)	長谷部伸治 工学研究科 教授
ユ ニ ッ ト の 概 要 等 (設置期間内に達成しようとする目標も含む)	スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の全学的な実施運営に当たっては、本センターに置かれたスーパーグローバルコース実施準備ユニットが取り纏めを行ってきた。 スーパーグローバルコースの実施をさらに促進するため、全学的な活動として可視化し、強力に展開することが必要不可欠であることから、実施準備ユニット(会議)を発展的に継承し、全学的な運営調整とドライブ機能を担う「スーパーグローバルコース実施運営協議会」を平成27年12月に設置した。 また、京都大学学際融合教育研究推進センタースーパーグローバルコース実施準備ユニット内規第3条に「スーパーグローバルコースの実施を統括する新たな組織を設置のうえは、速やかにその機能を移行するものとする。」としていることもあり、現在、ユニットの下に学術分野単位で置いている4つのサブユニットをユニットに昇格させ、ユニットごとの自立性を確保しつつ、上記の実施運営協議会及びその下部組織である実務担当者連絡会を通じて、学内での連携・協力関係を図り、海外大学との連携・協力関係の強化を図ることとしたい。 今回、申請する化学系ユニットは、分子レベルでの理論的解析から地球規模の環境・エネルギー問題への対応まで、化学が関与する分野を広範にカバーしている。化学系ユニットの持つ特徴を最大限に生かし、海外の大学と連携して大学院教育にあたり、広い視野や国際性を有する研究者の育成を目指す。
ユ ニ ッ ト 構 成 員 (氏名・所属・職)	別紙のとおり
設 置 期 間	平成28年4月1日から平成36年3月31日まで

期 待 さ れ る 成 果	化学系の各分野トップレベルの研究者による大学院のスーパーグローバルコースを通じて国際水準の教育研究を推進するとともに、国際共同学位プログラムの実施に不可欠な国際共同教育プログラムの制度設計を促進する。
設置期間終了後の構想	国際共同教育プログラム等を実施するとともに、設置期間終了後は、本プログラム等を実施する既存研究科において、円滑に実施できる体制を構築する。
必要経費とその財源	国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学等事業） 国立大学運営費交付金（特別経費（国立大学機能強化分））
担 当 事 務 組 織	工学研究科
そ の 他 留 意 事 項	

(別紙様式1)

教育研究連携ユニット設置申請書

関 連 部 局 名	医学研究科 他
ユ ニ ッ ト 名	スーパーグローバルコース医学生命系ユニット
代 表 者 名 (氏名・所属・職)	松田文彦 医学研究科 教授
ユ ニ ッ ト の 概 要 等 (設置期間内に達成しようとする目標も含む)	スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の全学的な実施運営に当たっては、本センターに置かれたスーパーグローバルコース実施準備ユニットが取り纏めを行ってきた。 スーパーグローバルコースの実施をさらに促進するため、全学的な活動として可視化し、強力に展開することが必要不可欠であることから、実施準備ユニット(会議)を発展的に継承し、全学的な運営調整とドライブ機能を担う「スーパーグローバルコース実施運営協議会」を平成27年12月に設置した。 また、京都大学学際融合教育研究推進センタースーパーグローバルコース実施準備ユニット内規第3条に「スーパーグローバルコースの実施を統括する新たな組織を設置のうえは、速やかにその機能を移行するものとする。」としていることもあり、現在、ユニットの下に学術分野単位で置いている4つのサブユニットをユニットに昇格させ、ユニットごとの自立性を確保しつつ、上記の実施運営協議会及びその下部組織である実務担当者連絡会を通じて、学内での連携・協力関係を図り、海外大学との連携・協力関係の強化を図ることとしたい。 今回、申請する医学生命系ユニットでは、ゲノム医学領域を中心に、海外パートナー校との教育・研究におけるさらなる連携体制の構築に取り組む。国際共同教育・学位プログラムの実施を通じて、世界トップレベルの研究者及び学生交流を促進し、国際競争力のある人材を育成するとともに、国際教育ネットワーク構築モデルを示すことで、本学の世界的評価を高めることを目指す。
ユ ニ ッ ト 構 成 員 (氏名・所属・職)	別紙のとおり

設 置 期 間	平成２８年４月１日から平成３６年３月３１日まで
期 待 さ れ る 成 果	医学生命系の各分野トップレベルの研究者による大学院のスーパーグローバルコースを通じて国際水準の教育研究を推進するとともに、国際共同学位プログラムの実施に不可欠な国際共同教育プログラムの制度設計を促進する。
設置期間終了後の構想	国際共同教育プログラム等を実施するとともに、設置期間終了後は、本プログラム等を実施する既存研究科において、円滑に実施できる体制を構築する。
必要経費とその財源	国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学等事業） 国立大学運営費交付金（特別経費（国立大学機能強化分））
担 当 事 務 組 織	医学研究科
そ の 他 留 意 事 項	

(別紙様式 1)

教育研究連携ユニット設置申請書

関 連 部 局 名	文学研究科、経済学研究科、農学研究科
ユ ニ ッ ト 名	スーパーグローバルコース人文・社会科学系ユニット
代 表 者 名 (氏名・所属・職)	久野秀二 経済学研究科 教授
ユ ニ ッ ト の 概 要 等 (設置期間内に達成しようとする目標も含む)	スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の全学的な実施運営に当たっては、本センターに置かれたスーパーグローバルコース実施準備ユニットが取り纏めを行ってきた。 スーパーグローバルコースの実施をさらに促進するため、全学的な活動として可視化し、強力に展開することが必要不可欠であることから、実施準備ユニット(会議)を発展的に継承し、全学的な運営調整とドライブ機能を担う「スーパーグローバルコース実施運営協議会」を平成27年12月に設置した。 また、京都大学学際融合教育研究推進センタースーパーグローバルコース実施準備ユニット内規第3条に「スーパーグローバルコースの実施を統括する新たな組織を設置のうえは、速やかにその機能を移行するものとする。」としていることもあり、現在、ユニットの下に学術分野単位で置いている4つのサブユニットをユニットに昇格させ、ユニットごとの自立性を確保しつつ、上記の実施運営協議会及びその下部組織である実務担当者連絡会を通じて、学内での連携・協力関係を図り、海外大学との連携・協力関係の強化を図ることとしたい。 今回、申請する人文・社会科学系ユニットは、アジア地域に立脚しながらグローバルな視野で世界の持続的発展に貢献しうる人材を育成するために、海外の有力大学とともに分野横断的な国際連携大学院プログラムを構築し、東・東南アジア地域と欧米地域の学生・若手研究者が相互に交流するハブ拠点となることを目指す。
ユ ニ ッ ト 構 成 員 (氏名・所属・職)	別紙のとおり

設 置 期 間	平成２８年４月１日から平成３６年３月３１日まで
期 待 さ れ る 成 果	人文社会系の各分野トップレベルの研究者による大学院のスーパーグローバルコースを通じて国際水準の教育研究を推進するとともに、国際共同学位プログラムの実施に不可欠な国際共同教育プログラムの制度設計を促進する。
設置期間終了後の構想	国際共同教育プログラム等を実施するとともに、設置期間終了後は、本プログラム等を実施する既存研究科において、円滑に実施できる体制を構築する。
必要経費とその財源	国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学等事業） 国立大学運営費交付金（特別経費（国立大学機能強化分））
担 当 事 務 組 織	経済学研究科
そ の 他 留 意 事 項	